

いそべ圭太

生まれ育ったふるさと保土ヶ谷のために

■第4回市会定例会

平成29年第4回市会定例会が12月5日から12月19日までの15日間に渡り開会され、横浜市政に関することを集中的に議論しました。

私は現在2期目であり、議員生活は6年半以上が経過しました。現在も無所属で活動を続けています。

■議案関連質疑

12月5日の本会議場での議案関連質疑に登壇し、3テーマ9の質問や指摘、提言をしました。

【退職手当支給制限処分に係る審査請求に関する諮問】

生徒に対して体罰やセクハラ等をしたとして、懲戒免職となった市立中学校の元教諭が提起した、「退職手当の全部を支給しないこととする処分」の取消しを求める審査請求について、審査庁である市長が、これを棄却することについて議会に諮問されている議案に関連して質問しました。

「横浜市における昨年度と今年度の体罰の認定件数は28年度4件、29年度は11月末までで3件となっており、体罰は児童生徒に対する人権侵害行為であり、学校教育法で禁止されている違法行為」との答弁が教育長からありました。合わせて「職員間で指摘し合える風通しの良い学校を構築し、体罰を許さない学校をつくることが一層必要である」との答弁が教育長からありました。

【横浜市市庁舎商業施設の運営に関する条例の制定】

現在建設中の新市庁舎の低層部に商業施設が入るのにあたり、運営に関する条例を制定することに関連して質問しました。

貸付期間が10年にわたる商業施設の運営では、当初の想定とは違った状況に直面することも考えられ、そのようなときに、横浜市としても、どのように対応することができるかが重要と質問したところ、「商業施設を安定的に運営していくために、市民の皆様のニーズや周辺環境の変化などに的確に対応しているかどうかについて

も、選定評価委員会において評価する。横浜市として、この評価を生かし、運営事業者と緊密に連携しながら、状況の変化にも対応する柔軟な商業施設の運営を行う」との答弁が市長からありました。

【補正予算 今井川関連】

過去度々台風などによる浸水被害を受ける今井川に関連して質問しました。

近年の集中豪雨では、これまでの想定を超える雨量が短時間に観測されており、水害のリスクの高まりとともに被害が甚大化し

ており、今井川では、過去度々台風などによる浸水被害を受けています。治水の抜本策である



河川改修を進めることが重要であり、今井川の河川改修の進捗状況と今後の改修の進め方について質問したところ、「平成16年度から重点的に進めてきたJR岩間川橋梁の架け替え工事が、今年度末に完了。これにより今井川の整備率は67.5パーセントとなる見込み。岩間川橋梁の工事完了に伴い、元町橋架け替え工事を進め、これまで着手できなかった橋梁から上流の整備を進めます。また、さらに上流の未改修区間についても、施工可能な箇所を整備を並行して行うなど、河川改修が早期に進むよう取り組んでいく」との答弁が市長からありました。

当日の質疑の詳細は、私のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

(ホームページをご覧になることができない場合、印刷したものをお届けいたしますので、事務所までお気軽にご連絡ください。)

いそべ圭太

検索 

■九州北部豪雨災害被災調査

【被災地で見たこと 感じたことを市政へ】

平成29年7月の九州北部豪雨災害により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されましたみなさまに心からお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

11月8日と9日に、大分県日田市と福岡県朝倉市の被災現場を視察しました。早い時期での訪問を考えていましたが、被災地の状況に配慮しつつ被害状況と復興の最初の段階を直に見ておきたく今日に至りました。主に朝倉市で、被害状況、災害時の対応、復旧計画、人的支援、今後の課題等について、横浜市の防災・減災の施策の参考にすべく必要なことを研究してまいりました。



【被災状況】

朝倉市では、わずか9時間で774mmという記録的豪雨を観測。死者30名、行方不明者4名、負傷者10名、全壊233件、大規模半壊132件、半壊657件、一部損壊406件、土砂崩れ約450箇所などの多くの被害が発生しました。山に近い現場では、河川の位置が変わったり、住宅が立ち並んでいた場所に仮設の通り道が出来たりと、街の状況が一変していました。比較的被害の少なかった平成24年の72時間で681mmの豪雨の経験からくる安心感や気持ちの油断が住民にあったのではとの話しが現地でありました。



【横浜市の取組】

横浜市では、平成26年10月の台風18号の教訓を踏まえ、図面等を基に大きな被害の発生するおそれのある崖地を選定し、この周辺地域における人家の有無や工事状況等について職員の目視による現場調査を行い、「土砂災害警戒情報」の発表とともに避難勧告を発令する対象区域として平成26年12月に133箇所を指定しました。その後、平成27年1月からは当該133箇所の崖地及び市内の土砂災害警戒区域内に存在する約9,800箇所の崖地について、地質の専門家による現地調査を行い、その結果に基づく見直し作業を行っています。崖地の現地調査は、保土ヶ谷区でも終了しています。

【自助の取組】

指定している箇所以外でも、想定外となる大雨など、想像を上回る災害の発生も懸念され、近年の自然の猛威は、ハード対策の防災力を上回り、それだけでは被害を防ぎきれなくなっていると感じております。

ソフト面、とりわけ危険箇所の把握、万が一の時の対応方法、速やかな避難訓練など、地震、火災、風水害など、すべての災害に対して高い意識を持ち、行動できるよう日々の生活の中で意識していかなければ被害は防げません。環境や状況に応じた避難行動がとれるよう、日々の備えを重視しましょう。

横浜市議員 磯部圭太プロフィール

横浜市立星川小学校／横浜市立保土ヶ谷中学校
神奈川県立保土ヶ谷高等学校／帝京大学法学部法律学科 卒業
横浜市内の民間企業を経て／平成27年横浜市議員選挙 2期目当選
高校時代に生徒会長を経験／20代に自治会・町内会役員を経験
現在は青少年指導員(8年目)

横浜市議員

いそべ圭太 政務活動事務所

〒240-0065 横浜市保土ヶ谷区和田1-12-17 ホーユウパレス和田町

TEL045-337-3331 / FAX045-337-3332

E-mail keita-isobe@iso-becchi.com



日々の活動報告、政策など、内容盛りだくさん!絶賛更新中!

いそべ圭太

検索

▼FacebookページURL

www.facebook.com/isobekeitaoffice

みなさまの声を
お聞かせください!



<http://www.iso-becchi.com/>